

「ありがとう」と「おかげさま」の心で！

福島町長 鳴海清春



の下、その判断の結果に全責任を負う覚悟を持って、町政の推進に全力で臨みたいと思います。

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もご家族おそろいで輝かしい新春を迎えられ、心からお喜び申し上げます。

今年は、平成の元号が変わり新たな元号となる節目の年でもあります。

皆様にとりまして平成の三十年間はどのような時代だったでしょうか。

私は、今年の年頭にあたり、より良き町を創造していこうという確固たる思いであり、町の将来を見据え、現実的な判断

の下、その判断の結果に全責任を負う覚悟を持って、町政の推進に全力で臨みたいと思います。

例」に基づく助成事業が昨年引き続き約3億円以上の経済効果を生み、町内経済の循環に寄与し、地元企業の事業継続に繋がっているものと確信をしております。

今年は、西日本豪雨などの災害が多くあり、夏には西日本を中心に猛暑が続き、また、北海道においても、胆振東部でこれまで道内で経験したことのない震度七が観測され、シブラックアウトにより二日間におたり全道が停電になるという異常な事態が発生し、当町でも二日間におよび停電が発生しております。

例」に基づく助成事業が昨年引き続き約3億円以上の経済効果を生み、町内経済の循環に寄与し、地元企業の事業継続に繋がっているものと確信をしております。

しかし、一方で人口減少に伴う商店街の衰退が顕著なため、町民の日常生活に直結する商店の廃業が続いており、人口減少を見据えた町の再編が急務となっております。

町長に就任以来、思いやりのある行政を目指すとともに、産業を基軸に笑顔の循環をめざす取り組みを進め、地域全体で支える子育て支援など、三年前に選挙で約束した事項は、概ね道筋をつけることができました。また、深浦先生の後任についても、町民の医療拠点となる町立診療所「やまゆりクリニック」として、

光銭先生をお招きし、六月に診療を開始しております。

今年は、大型事業として、昨年に引き続き、公営住宅の整備、また、地場の生産力向上を図るため、アワビの陸上養殖を本格化させるとともに、食べる昆布の生産拡大を目指します。さらに「道の駅」についても、若い人を中心に議論を進めてまいります。

また、潜在的な地域資源を活用し、交流人口の増加を目指すため、新たにクルーズ船を建造し、「青の洞窟」などのクルージングを開始いたします。新たな時代の幕明けにあたり、町民の皆様と共に挑戦する姿勢を持ち、町民の幸せのために一年間、果敢にチャレンジしてまいります。古くから「ありがとう」

の一言が周りを明るくし、「おかげさま」の一言が自分を明るくすると言われております。今年も一年間、「ありがとう」と「おかげさま」の心で、明るい町づくりを進めてまいります。

新しい年が皆様並びに福島町にとって燦々と輝く年となりますよう、心からご祈念申し上げます、年頭のあいさつといたします。

新年 あいさつ